

第45回： 都市水環境の再生に果たす下水道の役割

開催日： 2003年2月10日（月） / 会場： 「自動車会館」東京都

開催趣旨： 都市域での下水道普及率の向上に従い、下水道に対して、これまでの汚水処理や雨水排除の機能に加え、処理水の再生利用といった都市の新たな水循環を支える役割としての重要性が高まっています。平成13年末に内閣で決定された「都市再生プロジェクト（第三次決定）」においても、下水道は都市における水循環系再生構想の中心として位置づけられています。

一方で、合流式下水道越流水による水質汚濁や、残留消毒剤が水棲生態系に及ぼす影響についての懸念が広まっており、放流水の質および量の制御に関する技術の展開が急がれています。また処理水の再利用にあたっては、各種病原性微生物に対する監視と制御のための適切な手法の確立が求められます。

そこで本セミナーでは、都市の水環境を再生する上で重要な位置にある下水道の展開について施策面および技術面からご講演いただき、下水道の今後の望ましいあり方について考える機会としたいと思います。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 下水道行政における流域管理のアプローチ ―施策と展望―（藤木修／国土交通省都市・地域整備局下水道部）
- 東京の水環境再生にむけての下水道の取り組み（仮題）（松島修／東京都下水道局計画調整部）
- 排水中の残留消毒剤による水棲生態系や水産業への影響（丸山俊朗／宮崎大学工学部）
- 下水中の病原性微生物の挙動と不活化技術（仮題）（鈴木穰／独立行政法人土木研究所）
- 合流式下水道越流水による都市水系汚染の状況と改善技術（松尾友矩／東洋大学国際地域学部）